

広報誌

青葉台

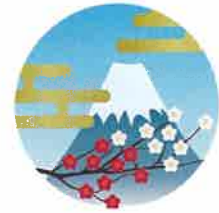


2024.1.26



辰年

2024  
HAPPY NEW YEAR



令和5年度青葉台地区フォトコンテスト 最優秀賞「お見事！手筒花火の競演」

ラインナップ

- ・新年のごあいさつ
- ・行政懇談会
- ・夏まつり
- ・AOBAスポフェス2023
- ・文化祭
- ・地域の力こぶ
- ・青葉台の散策
- ・人物紹介
- ・吉野弘の世界
- ・フォトコンテスト



発行：青葉台地区まちづくり協議会



編集：広報分科会



青葉台地区まちづくり協議会

# 新年のごあいさつ

青葉台地区まちづくり協議会 会長  
青葉台地区町内会連合会 会長 佐野 勝



青葉台地区の皆様には清々しく新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃から青葉台地区まちづくり協議会、町内会連合会の活動にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

昨年は新型コロナウイルスの感染法上の5類移行に伴い行動制限が緩和され、3年間自粛していた行事が4年ぶりに開催することができました。特に8月5日(土)の地区夏まつりでは猛暑の中での開催となりましたが地区役員、各町内からのお手伝いを頂き盛大な夏まつりを開催することができました。各町内会、団体からの模擬店出店と数多くのアトラクション出演もありました。特にフィナーレでは駿州木島手筒組の皆さんによる手筒花火では素晴らしい炎の競演に圧倒されました。地区の皆様の交流の場として思い出に残る夏まつりになったと思います。その後、猛暑の中での開催は準備、片付け等危険ではないかとの意見が多数寄せられました。そのため青葉台まつり検討委員会で検討した結果、来年度からは開催時期を変更することになりました。皆様方には開催方法が決まり次第報告させていただきます。

新型コロナウイルス感染、インフルエンザ等これからも安心できません。体調管理には充分注意をして頂き素晴らしい年になることを祈っております。また役員一同青葉台地区が“住んで良かった”と思われる地区になるよう一生懸命努めてまいりますのでご理解、ご協力をお願いし新年の挨拶といたします。



青葉台地区生涯学習推進会 会長 澤本 弘



皆様には穏やかな新年を迎えられていることとお慶び申し上げます。

さて、今年度はコロナ感染症の縮小により事業活動の5月のグランドゴルフ大会、6月のソフトボール大会に始まり、地区運動会に代わり第1回AOBAスポフェス2023と第26回地区文化祭の開催が実施できました。また、青少年育成部の夜間街頭指導等ほかの事業も併せてすべての活動には本部役員の並々ならぬ努力と熱意により行われたものと確信しております。これらの事業活動が今後の地域の活動に活気が戻りますようその一部の役割を担っていければと思います。

また、青葉台地区まちづくり協議会の改革を進めるには地区の皆様の多くのご意見が必要になるかと存じます。次年度においても相変わらませずご支援ご協力を頂ければ幸いです。本年もよろしくお願いたします。

# 令和5年度 青葉台地区行政懇談会

2023年10月23日(月)、小長井市長・山田副市長をお迎えし、青葉台地区の要望をお伝えしました。

## 1 左富士臨港線(青葉台東工区)の道路整備事業における進捗状況及び今後の計画

### 【要望内容】

早期の整備及び全線開通が望まれる左富士臨港線について  
現時点における事業の進捗状況及び今後の計画についてお聞きしたい。

### 【回答: 道路整備課】

左富士臨港線(青葉台東工区)は、全体計画延長487mで、平成24年度に事業着手し、地権者の皆様の御協力を得ながら、道路用地の取得を中心に進めており、令和4年度末の進捗率は、事業費ベースで約63%です。

今後の計画は、令和5年度に、物件調査委託1件及び用地取得2件を予定しており、来年度から松原川橋梁西側の道路内に雨水貯留施設の設置工事を行う予定です。

なお、以前は、国の交付金額は減少傾向で、当初の事業計画より遅れている状況でしたが、ここ数年、交付金額の配分が順調であるため、今後も、2020年代後半の供用開始を目指し、事業を進めていきます。



お知らせ



とどけ、被災地へ! 支援の輪



青葉台地区まちづくり協議会

青葉台地区まちづくり協議会(佐野勝会長)では、この度の能登半島地震を受け、古紙回収報奨金127,335円(令和4年度下半期分68,640円+令和5年度上半期分58,695円)を義援金として送金させていただきます。

## 2023年 第26回

# 青葉台地区夏まつり4年ぶりに開催

2023年8月5日(土)、青葉台小学校グラウンドで開催されました。



小長井市長ご挨拶



4年ぶりの開催で力が入る佐野会長!



ジュニアリーダーによる子ども達との楽しい「ゲーム大会」も盛り上がりました!



久々のお祭り・模擬店にワクワク



富士東高校マーチングバンドと青葉夢太鼓がお祭りを盛り上げました!

華麗な「よさこい演舞」が華を添えてくれました。



初めての手筒花火に感動!最後は大きな風車に拍手喝采でした。



暑さ厳しい中、関係者の皆様、楽しい夏まつりをありがとうございました!!

# AOBAスポフェス2023



2023年10月1日(日曜日)に、青葉台小学校グラウンドと体育館にてAOBAスポフェス2023を開催しました。今年度は例年の運動会から趣向を変え、地区の皆様の健康づくりとスポーツを楽しむことを目的に、自由参加型のスポーツイベントとして開催しました。当日はボッチャ、モルック、体操講習会、新体力測定(握力、反復横跳び、上体起こし等)といった競技のほか、骨密度測定、血管年齢測定、キッチンカーの出店がありました。スタンプを4個以上集めると景品がプレゼントされる「新体力測定スタンプラリー」を同時に実施し、たくさんの方が、様々な競技に挑戦していました。

☆まずは健康測定☆



☆靴飛ばし☆



☆反復横跳び☆



☆ボッチャ☆



☆キッチンカーの出店も♥☆



☆上体起こし☆



いわゆる、腹筋!  
日頃鍛えてないと  
キツイなあ(-\_-;)   
がんばれ~!!



# ◆地区文化祭◆

2023年11月12日(日)



ステージ



展示



模擬店



当たりますように



抽選会で自転車が  
大当たり!

グラウンドでは  
富士東高等学校の  
吹奏楽部演奏



# 地域の力こぶ!



## 青葉台の「映えスポット」～ひまわり・コスモスプロジェクト～

ご協力頂いた皆様、ステキなお花畑をありがとうございました!

実施日:2023年7月～「ひまわり」プロジェクト



実施日:2023年11月～「コスモス」プロジェクト



# 青葉台の散策

令和5年4月 富士東高等学校に特別支援学校の分校が新設

## 富士特別支援学校富士東分校

大淵にある静岡県立富士特別支援学校の分校として、静岡県立富士東高等学校に併設する形で高校の校舎の中に「富士東分校」が開校しました。

第1期生として入学した1年生15人が日々奮闘しながら学校創りを進めています。

本校の特色について「つながり」というキーワードで2つ紹介いたします。



## 高校生同士のつながり

### 富士東高等学校と富士東分校の生徒同士が織りなす交流 高校生同士の言葉と空気感で

初めに富士東高校との交流について紹介します。分校と高校の生徒は、特別支援学校と高等学校という校種の違いはありますが、同じ校舎で学び、生活をする「富士東」の仲間です。

両者の出会いは4月の対面式。そこで富士東高生の代表から「私たちと**高校生同士の言葉で、高校生同士の空気感**で学校創りを進めていきませんか？」という表現のメッセージが送られました。この言葉が私たちの胸に深く響き、今も両者の心に浸透しています。

実際に行われている交流について、いくつか紹介します。



## FESTIVAL

### 東雲祭 (文化の部、体育の部)

合同で開催された「しのめさい東雲祭」で、なんとオープニングのステージを分校の新入生15人が任されることに…。不安、緊張MAXでいざステージへ…

見事、緊張を吹き飛ばし、校歌をアレンジしたボディパーカッションを披露。そして、一番の驚きは、ステージ下で、富士東高校の生徒全員と一緒にボディパに参加し、ステージを盛り上げてくれました。会場が一体となり、大歓声に包まれました。

## RADIO

### 校内ラジオ放送

「昼の放送を使ってお互いの学校のことを紹介し合いたい！」そんな生徒の思いから始まった校内ラジオ放送「キラキラあわあ〜」。

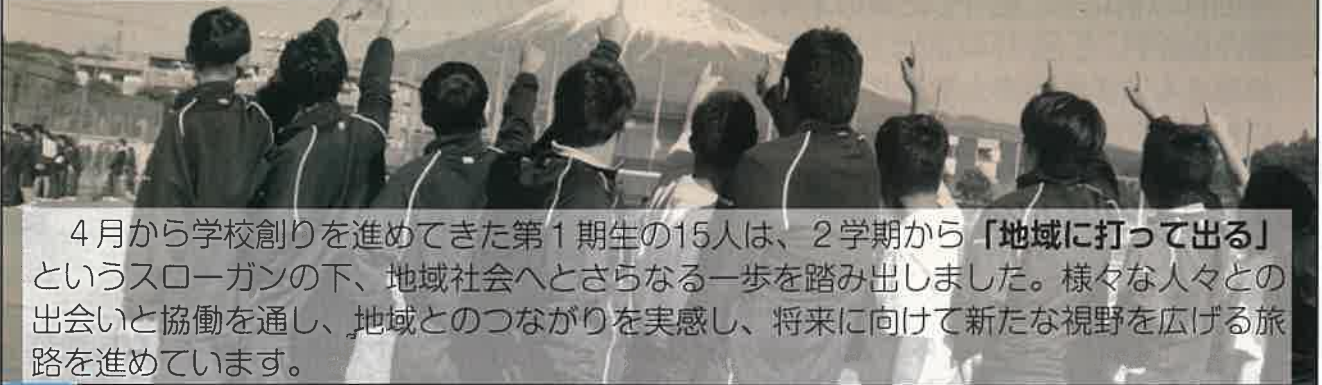
両校の生徒がグループを組み、パーソナリティとなって、質問し合いながらトークの掛け合いを繰り広げています。





# 地域社会 とのつながり

地域の人々との出会いと協働を通して、気づきを分かち合う  
**地域に打って出る!**



4月から学校創りを進めてきた第1期生の15人は、2学期から「地域に打って出る」というスローガンの下、地域社会へとさらなる一歩を踏み出しました。様々な人々との出会いと協働を通し、地域とのつながりを実感し、将来に向けて新たな視野を広げる旅路を進めています。

# 青葉台地区文化祭



総合司会



製品販売



ステージ発表  
ポティーバーカンヨン

11/12(日)に開催された青葉台地区文化祭でのつながりについて紹介します。始まりは自治会長様からの期待に満ちた一言でした。「4年ぶりに開催する地区の文化祭に、富士東分校の生徒にも参加してもらいたい!」生徒たちは、期待に応えるべくステージ発表や作業製品販売の準備を進めてきました。そんな分校生にさらなる白羽の矢が…「ステージ部門の総合司会もお願いしたい。」まさかの大役にもひるむことなく、当日はすべての出番を見事にやり遂げました。地域の方の支えのもとで、直に触れ合い、心通わす文化交流ができたことに心から感謝しています。



富士東高校生  
マーチングパフォーマンス



施設メンテナンス

# 人物紹介 vol. 31



今回は以前にもご紹介した茶の木平にお住いの、<sup>うめはらまんな</sup>梅原万奈さんをご紹介します。

梅原さんは多摩美術大学デザイン科卒の本格的なアーティスト。

以前インタビューした時これからの夢ということで「毎年、絵本コンクールに応募しています。いつか、自分の絵本が本屋さん並び多くの人に見てもらえることが今の私の夢です。」と語っていましたが、昨年、大阪国際児童文学振興財団主催「日産 童話と絵本のグランプリ」において、見事!絵本大賞を受賞。



2023年12月12日その本が出版され大きな夢がかないました。下記は受賞作品「なんかひとりおおくない?」ですが、この古民家見たことありませんか?そうなんです!実は広見公園内の古民家「旧稲垣家」がモデルなんです。暖かなストーリーと全て銅版画という非常に緻密な作業を経たモノクロの作品は本当に素晴らしく、是非、お子さんと一緒に堪能して頂きたいです。

## 梅原万奈さんからのコメント

この絵本は広見公園の旧稲垣家住宅が舞台になっています。

十年程前に初めてスケッチをした時、「なんかいそうだな。」と思ったのがきっかけで、お話を考えつきました。その二年後位に絵本の形にしましたが、何度も描き直して一昨年秋に「日産童話と絵本のグランプリ」に応募しました。締め切りに向けてこれから制作の本番、というところで派手に転んで怪我をし、作業が思う様に出来なくなっていました。

でも今思うと逆にそれが頑張る力になって、いつも以上の作品になったような気もしています。

大賞の副賞として出版して頂けるのですが、応募した作品がそのまま本になる訳ではありませんでした。多少の手直しは覚悟していたのですが、なんと全ページ描き直しになってしまいました。銅版画の制作は、とても時間が掛かるのですが、半年で仕上げなくてはならず、とにかく必死でした。商品として本屋さん並びで恥ずかしくない物を作るということはこういう事か、と実感しました。



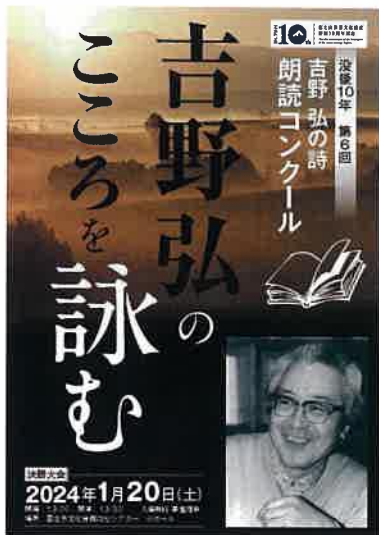
銅版画プレス機で刷ります



BL出版のサイトQRコード  
作品についての詳細、  
インタビュー記事 掲載

# 「吉野弘」の世界

「没後10年 第6回 吉野弘のこころを詠む 朗読コンクール」2024年1月20日(土)開催。



今迄の功績が認められ、今回より富士市主催で開催されることとなりました。応募送付135名中、決勝進出は32名。鹿児島から北海道まで多くの方が、この富士市で開催する全国大会に集結しました。

また、富士山かぐや姫ミュージアムでは大会に合わせ、2月25日まで作品展が企画されました。



決勝大会 概要	
開催日	2024年1月20日(土)
会場	新館 新館×村山館 13:00 - 15:30
開演	13:30 表彰式 15:45
主催	審査員長 富士市長 小長井義正 副審査員長 富士市教育長 森田周幸 他
部門	①ジュニアの部(小学生以下) ②学生の部(中学生) ③一般の部

## 富士市長の挨拶

全国から多くの皆様に、「第6回 吉野弘のこころを詠む 朗読コンクール」にご応募いただきまして、誠にありがとうございます。決勝大会を吉野弘氏が晩年を過ごしたこの富士市で盛大に開催できる運びとなりましたことを、大変嬉しく思っております。

2年ぶりの開催となるこの大会は、吉野弘氏の没後10年、富士山世界文化遺産登録10周年の記念事業として開催いたします。

今回も全国から133名と、たくさんの方からご応募をいただきました。

これもひとえに、これまで開催してこられた実行委員会の皆様が吉野弘氏を敬い、富士市が緑の地であることを誇りに思う心の賜物であると、深く感謝申し上げます。

一次審査を通過され、本日の決勝大会に進出された皆様、ご出場、誠にありがとうございます。

本市は、ブランドメッセージ「いただきへの、はじまり 富士市」を掲げ、まちへの愛着と誇りを高めるとともに自分の目標や夢に向かってチャレンジする人を応援しております。また、市内外にオンリーワンの魅力を発信し、本市と多様に関わる人との交流促進に努めております。

本日、ご出場される皆様の朗読により、あらためて吉野弘氏の詩の素晴らしさを感じていただくとともに、出場者の皆様が「いただき」を目指し、日頃の成果を遺憾なく発揮されることを祈念申し上げます。

結びに、この大会が表現力を育む場として、一層発展していくことを大いに期待して、挨拶とさせていただきます。

富士市長 小長井 義正



出場者エントリー順	
<b>ジュニアの部</b>	
1	村山花音 夕陽の光 ぬけぬけと自分を見つめたい 小学4年生 静岡県富士市
2	佐藤綾香 まこと 風が吹くと 小学2年生 東京都豊島区
3	白鳥心華 しほり 次の子 小学5年生 静岡県富士市
4	栗田柚生 くりな つぶき 雲の日に 小学4年生 静岡県富士市
5	矢崎心葉 やさき こほり 空の色が 小学4年生 大阪府大阪市北区
6	村松愛梨 村松 風が吹くと 小学4年生 静岡県富士市
7	石川鈴々 いしづか りり ぬけぬけと自分を認めます 小学4年生 静岡県富士市
8	田辺詩織 たねべ 富士 小学5年生 静岡県富士市
<b>学生の部</b>	
1	宮辺美月 みやべ みづき 真夏の星 高校2年生 埼玉県久喜市
2	鈴木詩織 すずき しおり 虹の足 中学1年生 静岡県富士市
3	椎野 葵 しいの あい 高層な庭園 高校1年生 神奈川県横浜市南区
4	川端みなと かわべ みなと 生命は 高校1年生 静岡県富士市
5	関根遥那 せきね はるか 一枚の掌裏 小学3年生 神奈川県横浜市西区
6	横山美穂 よこやま みほ 虹の足 高校3年生 神奈川県横浜市西区
7	五津杏球 いくさ あんり 小さな出来事 中学2年生 埼玉県羽咋市
8	小林舞 せがわ まい 真夏の星 高校3年生 静岡県富士市
9	沖島美琴 おき島 みこと 吉の星から 中学1年生 静岡県富士市

一般の部	
1	二宮 陸 にのみや りつと 桜の家 神奈川県横浜市 神奈川県横浜市
2	山中圭子 やまなか けいこ 秋の歌 大阪府大阪市北区 大阪府大阪市北区
3	鈴木順子 すずき じゆんこ 遠る声・遠る音 鹿児島県鹿児島市 鹿児島県鹿児島市
4	坂田希子 さかた けいこ 頬ぶ 千葉県船橋市 千葉県船橋市
5	佐山明子 さやま ありこ ぼぐす 静岡県沼津市 静岡県沼津市
6	高岩輝典 たかいわ てるひで 頬を添ひて 東京都豊島区 東京都豊島区
7	須山里香 すずやま りか 秋の運動会で 鳥取県出雲市 鳥取県出雲市
8	栗原弘江 むらやま ひろえ 虹の足 埼玉県川越市 埼玉県川越市
9	長田雅子 ながた まさこ 13日の金曜日 静岡県沼津市 静岡県沼津市
10	中山伊都子 なかやま いづこ 遠る位置 鹿児島県鹿児島市 鹿児島県鹿児島市
11	石橋 玲 いしはら りん 冷感に 北海道札幌市中央区 北海道札幌市中央区
12	寺島 立 てらしま たけし ぼぐす 埼玉県越谷市 埼玉県越谷市
13	鈴木真也子 すずき まゆみ 茶々子に 神奈川県横浜市 神奈川県横浜市
14	藤沢りょう とうざわ りょう 雲の日に 静岡県富士市 静岡県富士市
15	塚田誠司 つかた まこと 日々を想えば 奈良県生駒市 奈良県生駒市



# 令和5年度青葉台地区フォトコンテスト入賞作品



優秀賞： 「鳳凰の如く」



特別賞： 「ひまわりの小道」



特別賞： 「青葉の夏」



特別賞： 「台風の前夜」



特別賞： 「ひまわりと富士山」



特別賞： 「虹の架け橋」

## 編集後記

新年明けましておめでとうございます。

ちょうど12年前の年賀状、辰のイラストと一緒に「頑張ろう！日本！」の文字。再び同じような光景を目にすることとなり自然の驚異を再度痛感した。この地域では他人事とは思えない。もう一度、防災の準備を確認しよう！そして被災地の早期復興を願うばかりです。「頑張ろう！石川！」

今年も広報誌へのご協力宜しくお願いします。

編集：(広報分科会) 和久田恵子・芹澤芳子